

第 14 回 環境教育関東ミーティング 2017

「集まれ！環境教育のなかまたち」～コラボレーションで新しい未来を創り出そう～

分科会企画募集

今年度も以下の通り環境教育関東ミーティング開催に向けて実行委員会が活動を開始しました。テーマは「集まれ！環境教育のなかまたち」～コラボレーションで新しい未来を創り出そう～です。

■ 分科会を担当しませんか？

このミーティングでは、毎年様々な分野の方に分科会を企画、出展していただいています。今年度も環境教育関東ミーティングの分科会の企画を募集します。

分科会を企画し出展することによって、あなたが発信したテーマに興味を持ったり、共感してくれる人たちが集まってきます。そして思わぬ活動の支援やヒントを得たり、今後同じテーマで活動してくれる仲間が現われるかもしれません。環境教育、自然教育、ESD（持続可能な開発のための教育）など、環境と教育に関わることならなんでも結構です。分科会ご希望の方は、以下の条件をご確認の上、分科会企画シートにご記入いただき、実行委員会事務局 (aa.kanto2017@gmail.com) までお送りください。(締切り 8/15)

■ 第 14 回環境教育関東ミーティング概要

【テーマ】 「集まれ！環境教育のなかまたち」～コラボレーションで新しい未来を創り出そう～

【開催日】 2018年2月10日（土）、11日（日）

【会場】 八王子セミナーハウス（東京都八王子市）

【定員】 120名

【主催】 環境教育関東ミーティング実行委員会

【参加費】 16,000円（早期割、学割りあり）

【プログラムスケジュール】

2月10日（土）	
12:30	オープニング
12:35	オリエンテーション
12:50-13:50	全体会（環境教育関東ミーティングから生まれた素敵なコラボ事例発表）
13:50	会場移動
14:20-15:50	分科会 A-1 90分（分科会①～⑤）
15:50	会場移動
16:10-17:50	分科会 A-2 90分（分科会⑥～⑩）
17:50	チェックイン
18:45	夕食（食堂）
19:30	ポスターセッション・交流会（講堂）
21:00	交流会（二次会）
2月11日（日）	
7:00	早朝プログラム
7:30-9:00	朝食（食堂）、チェックアウト
9:00	全体会
9:15	会場移動
9:40-11:40	分科会B 120分（分科会⑪～⑯）
12:00	昼食（食堂）
13:00	クロージング
14:00	閉会
14:30	エクスカーション

<分科会応募要項>

1. コマ数：全コマ数 16 コマ

- 2月10日(土)「分科会A-1」5コマ、「分科会A-2」5コマ、合計10コマ。
各コマの所要時間は90分です。

A-1(90分)	分科会①	分科会②	分科会③	分科会④	分科会⑤
A-2(90分)	分科会⑥	分科会⑦	分科会⑧	分科会⑨	分科会⑩

- 2月11日(日)「分科会B」6コマ。
各コマの所要時間は120分です。

B(2時間)	分科会⑪	分科会⑫	分科会⑬	分科会⑭	分科会⑮	分科会⑯
--------	------	------	------	------	------	------

2. 出展形態：セミナー、ワークショップ、体験など。
3. 備品等：プロジェクター、模造紙、マジックなどの備品は事務局で用意します。
4. 経費：出展料は無料です。実行委員会から出展者への謝金はありません。
関東ミーティング参加費(16,000円)の講師割引等の措置はございません。
5. 分科会参加費：分科会参加者からの参加費徴収は、出展者の責任でお願いします。
また、募集時に金額を明示していただくようお願いいたします。材料費等を徴収することも可能ですが、参加しやすい費用設定をお勧めします。
6. 募集締切り：8月15日(火)。
7. 申込み、お問合せ：環境教育関東ミーティング実行委員会事務局 aa.kanto2017@gmail.com

以上

【参考】 前回（平成 28 年度）の分科会内容

- ①つなぐれトコロジスト ～日本と韓国、なぜ今トコロジストなのか？～
- ②ビジネスモデルを考えよう「SATOYAMA+(プラス)竹パウダー」
- ③みんなで生きものの変化を調べよう！～センサーカメラ体験～
- ④野鳥から教わる環境教育～動物園の教育イベントの紹介～
- ⑤今求められる旅行業法について考えよう
- ⑥きのこ・粘菌と親しむ方法あなたの知らない森の住人
- ⑦軒下から世界へ!? ツバメを使った観察プログラムの可能性
- ⑧自然を出版する～自然環境ビジネスモデルの一つとして～
- ⑨自然観察施設も潰れる時代！？生き残るプランを考えよう
- ⑩カードゲームで学ぶ里山と生物多様性
- ⑪木の葉がギンの葉になる！驚きワークショップ ※参加費 1,500 円。当日徴収(材料費込)
- ⑫環境再生でメシをくう
- ⑬フィールドの“らしさ”をつくる生態系—生物多様性とは
- ⑭どう使う？地域の自然資源～県森の環境教育プログラム
- ⑮都立公園からは新！環境教育とどう向き合う!?～パークレンジャーの取り組みと今後の課題～
- ⑯ツリークライミング(木登り体験) ※参加費 1,000 円。当日徴収(保険料・材料費込)

昨年の様子

